

# 義母の介護日記

週末は群馬と東京の往復が増えました 2024. 4. 21

- ・ 義父が亡くなり、しばらく一緒に義母と暮らして認知症の状況がわかりました（2024年3月）
- ・ 通販定期便の注文の多さと使い切れない物がたまっていました。
- ・ 賞味期限の切れた食品ぎっчりの冷蔵庫・トイレ・部屋の汚れ
- ・ 本人自覚がない為、捨てようとせず
- ・ 「いつも食欲あり、自分は健康で良かった。」と言う
- ・ 「今、3チャンネルでおもしろい番組している見てよ」日になんども電話がある
- ・ 鍵が玄関の鍵口に挟んだまま
- ・ 料理が得意だった義母に私が料理作ると「陽子さん、ありがとう。おいしいよ。」時々、むせるのが気になるが、近所の運動教室に楽しく通う

⇒認知症は暮らしの中でわかる

⇒**ダークパターン**にはまる・解約が認知症本人では難しい・家族が解約電話・ダイレクトメール中止手続き

⇒心が痛みながらも本人がいないときに、片付け・本人からは苦情なし

⇒「私たちの大事な友人のヘルパーさんをお願いします」と訪問介護（家事援助）導入・本人にOKもらう

⇒病識のなさが、本人をHAPPYに

⇒話をしたいが話題が浮かばないので、目の前の番組を提示する。安否確認にもなるので、快く電話で話をする

⇒いつもの使う黒バッグに鮮やかピンク（お気に入りの色）の紐にカギをつけて使用（認知症デザイン・コントラスト）

⇒嚥下が低下している

**\*母の明るさ・やさしさは変わらない**

**足はしっかりしている・自由をもちながら事故なく長生きしてほしいと願う**